

© PAJ / JPO

PN - JP2002115115 A 20020419
TI - OWN-HAIR-UTILIZED TYPE WIG AND METHOD FOR PRODUCING THE SAME
AB - PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an own-hair-utilized type wig free from any peripheral rim frame member representing the wig outline, thereby capable of easily drawing a plenty of own hair and utilizing the own hair through intimately mixing the imitation hair together, thus effecting rich hair as a whole.
- SOLUTION: This own-hair-utilized type wig designed to draw the own hair of a wearer through the space of the wig and mix the own hair with the imitation hair 15 attached to the wig has such a scheme that a plurality of ribs 13 are combined together so as not to form the outline of the wig, thereby forming a skeleton-like framework; to which a plenty of the imitation hair 15 are fixed to construct a hair-implanted frame 10 free from any peripheral rim frame. Owing to the above scheme, this wig can be worn by mixing the own hair of a wearer drawn through the space of the hair-implanted frame 10 with the imitation hair 15 fixed to the ribs 13.
I - A41G3/00
PA - ADERANS CO LTD; FUONTEENU KK
IN - YAGUCHI TOSHIO; SOBEDATE YOSHIHIKO; SUKAI KATSUO; IMAI SAKIKO; YAMAKAWA RYUJI; KOJIMA SHINKICHI
ABD - 20020805
ABV - 200208
AP - JP20000307987 20001006
PD - 2002-04-19

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-115115

(P2002-115115A)

(43) 公開日 平成14年4月19日 (2002. 4. 19)

(51) Int. Cl.⁷

A 4 1 G 3/00

識別記号

F I

A 4 1 G 3/00

テームト (参考)

F

N

審査請求 未請求 請求項の数18 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2000-307987 (P2000-307987)

(22) 出願日 平成12年10月6日 (2000. 10. 6)

(71) 出願人 000126676

株式会社アデランス

東京都新宿区新宿1丁目6番3号

(71) 出願人 595130838

フォンテーヌ株式会社

東京都新宿区新宿5丁目5番3号

(72) 発明者 矢口 利男

東京都新宿区新宿5丁目5番3号 フォン

テーヌ株式会社内

(74) 代理人 100082876

弁理士 平山 一幸 (外1名)

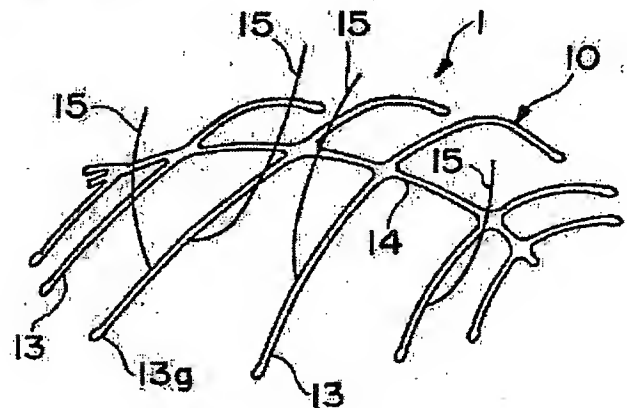
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 自毛活用型かつら及び自毛活用型かつらの製造方法

(57) 【要約】

【課題】 かつらのアウトラインとなる周縁枠部材が無く、多くの自毛を容易に引き出すことができ、かつらの擬毛と万遍なく混ぜ合わせて自毛を有効に利用し全体として毛量を豊かにし得る、自毛活用型のかつらを提供する。

【解決手段】 かつらの隙間から装着者の自毛を引き出してかつらに取り付けた擬毛15と混ぜ合わせて装着する自毛活用型かつらにおいて、リブ13を複数本をなえ、かつらのアウトラインを形成しないように複数本のリブ13を組み合わせて骨格様のフレームワークを形成し、この骨格様のフレームワークに多数の擬毛15を取り付けて周縁枠を有しない植毛フレーム10を構成し、植毛フレーム10の間から出した装着者の自毛とリブ13に取り付けた擬毛15とを混ぜ合わせて装着する。



【図6】本発明による自毛活用型かつらの製造方法の一例を示し、フレームワークの成形工程を示す斜視図である。

【図7】図6に示す石膏頭型ヘリブ材をセットした状態の断面図である。

【図8】本発明の第一実施形態の第二変形例に係る自毛活用型かつらを示す斜視図であり、(A)は斜視図。

(B)は(A)に示すかつらに用いられるリブの形態を示す側面図である。

【図9】本発明の第一実施形態の他の変形例に係る骨格様のフレームワークの構成を示す平面図である。

【図10】本発明の第一実施形態の他の変形例に係る骨格様のフレームワークの構成を示す平面図である。

【図11】本発明の第一実施形態の他の変形例に係る骨格様のフレームワークの構成を示す平面図である。

【図12】本発明の第一実施形態の他の変形例に係る骨格様のフレームワークの構成を示す平面図である。

【図13】本発明の第一実施形態のさらに他の変形例に係る骨格様のフレームワークの構成を示す平面図である。

【図14】本発明の第一実施形態の別の変形例に係る骨格様のフレームワークの構成を示す平面図である。

【図15】本発明の第一実施形態のさらに別の変形例に係る骨格様のフレームワークの構成を示す平面図である。

【図16】(A)及び(B)は本発明に用いるリブの一例を示し、先端に形成したループへ擬毛を取り付けた状態を示す部分拡大斜視図である。

【図17】本発明に用いるリブの一例を示し、(A)は芯材を熱収縮性のチューブで被覆することにより形成したリブの部分拡大側面図、(B)は(A)のA-A断面図、(C)は(A)のB-B断面図である。

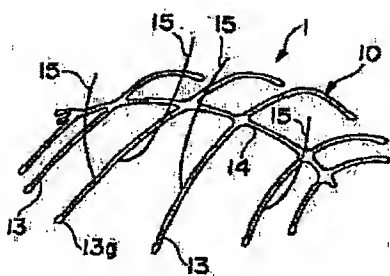
【図18】(A)～(C)はそれぞれ、図17に示すリブの製造工程を説明する斜視図である。

【図19】図19は従来の自毛活用型かつらを装着した状態を示す斜視図である。

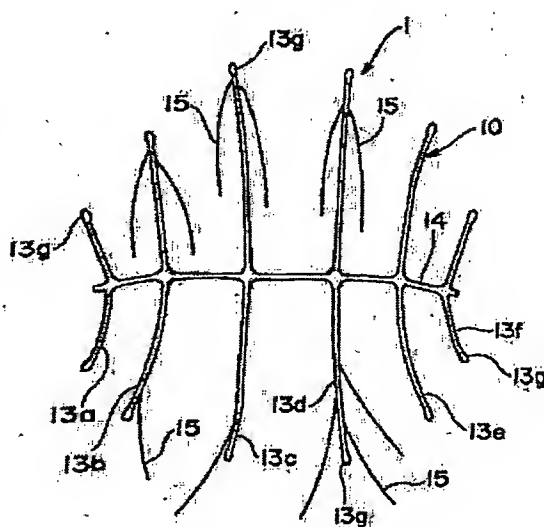
【符号の説明】

- 1, 2 かつら
- 10, 11 植毛フレーム
- 13, 13a～13f, 13-2, 18 リブ
- 13g 膨出部
- 13h 屈曲部位
- 13i ループ
- 13-1 U字状のリブ
- 14 連結用リブ
- 14-1 半環状の連結用リブ
- 15 擬毛
- 16 補助連結用リブ
- 17 ストッパー
- 18a 芯材
- 18b 熱収縮性のチューブ
- 18c 突出部
- 19 石膏頭型
- 19a 溝

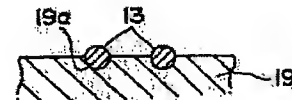
【図1】



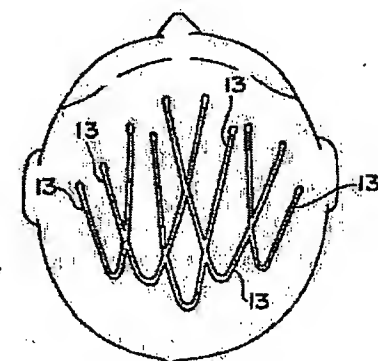
【図2】



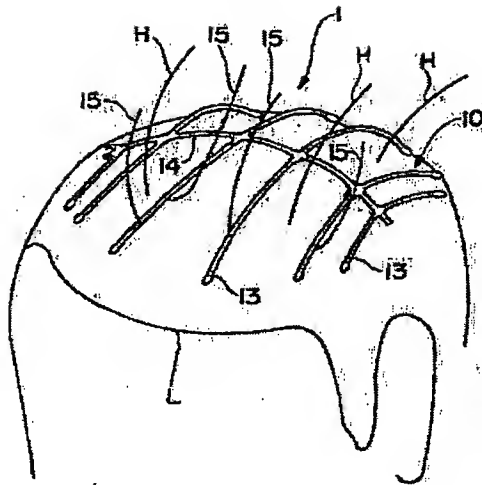
【図7】



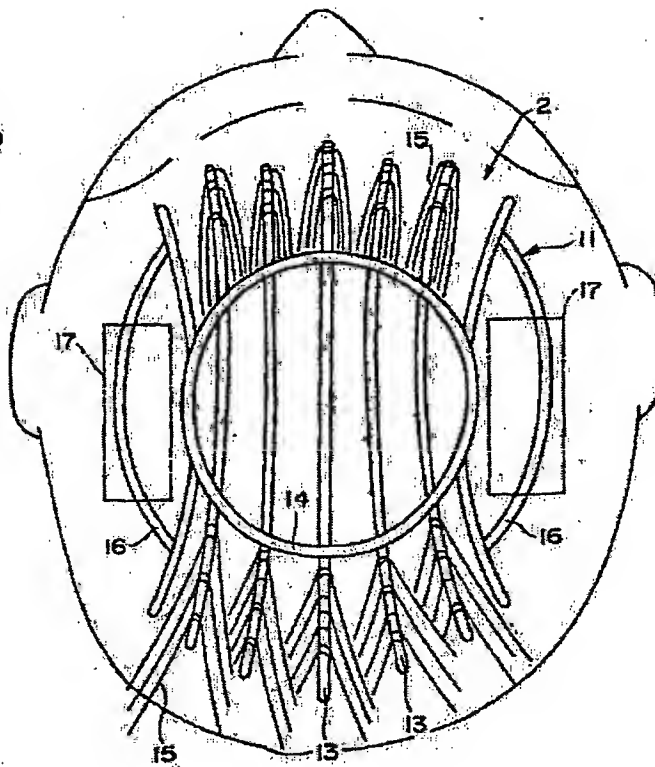
【図12】



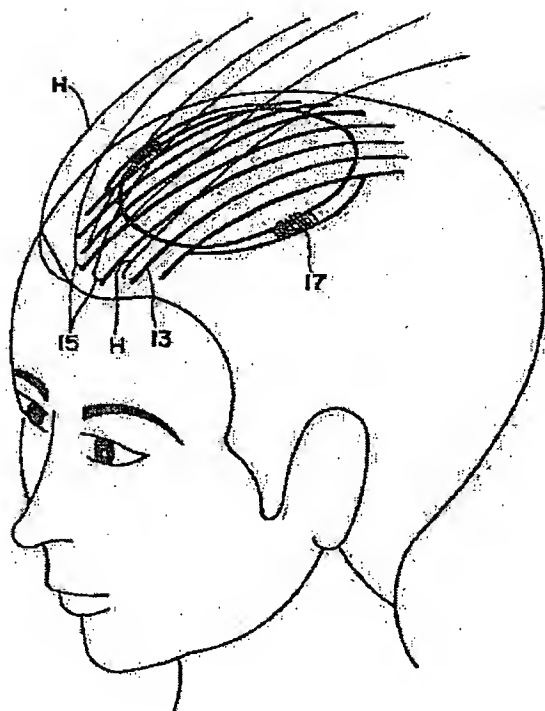
【図3】



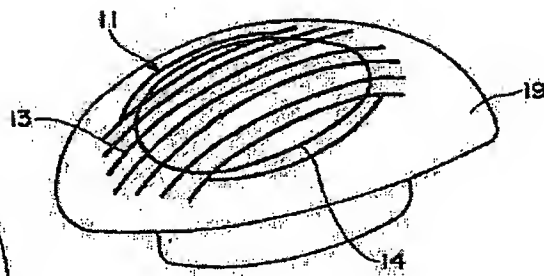
【図4】



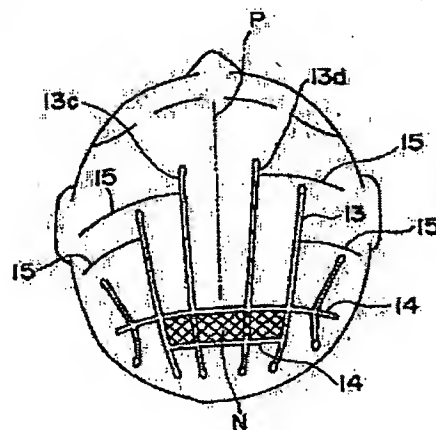
【図5】



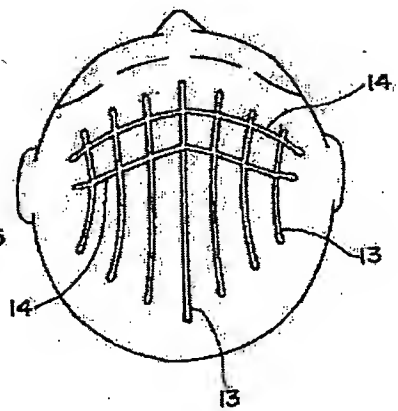
【図6】



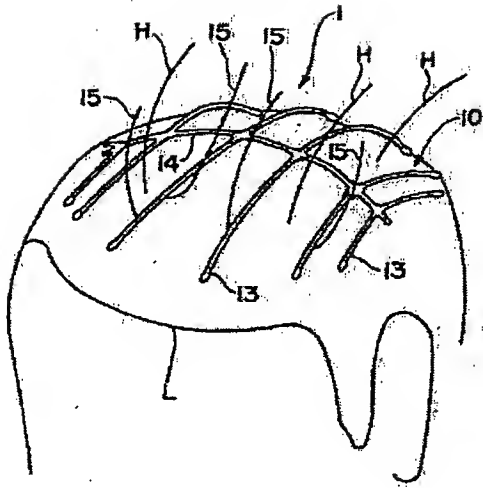
【図9】



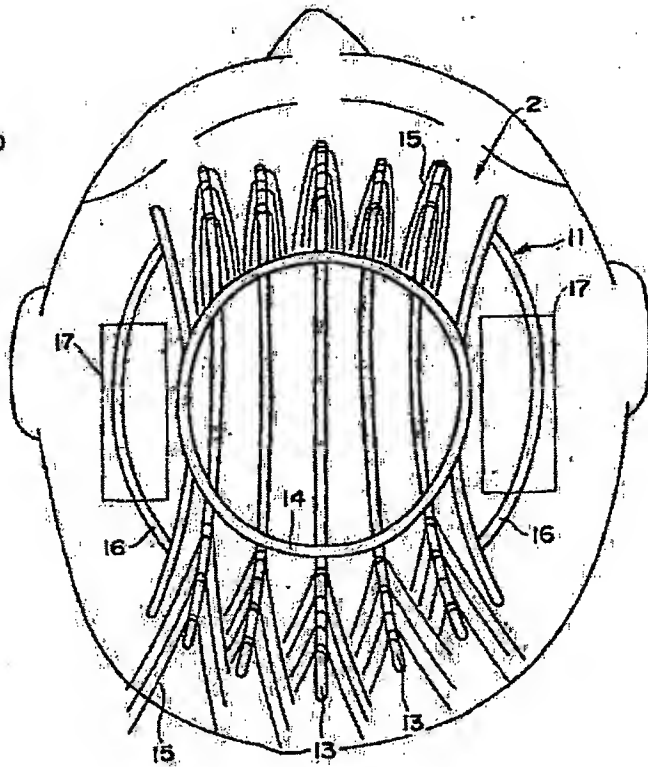
【図13】



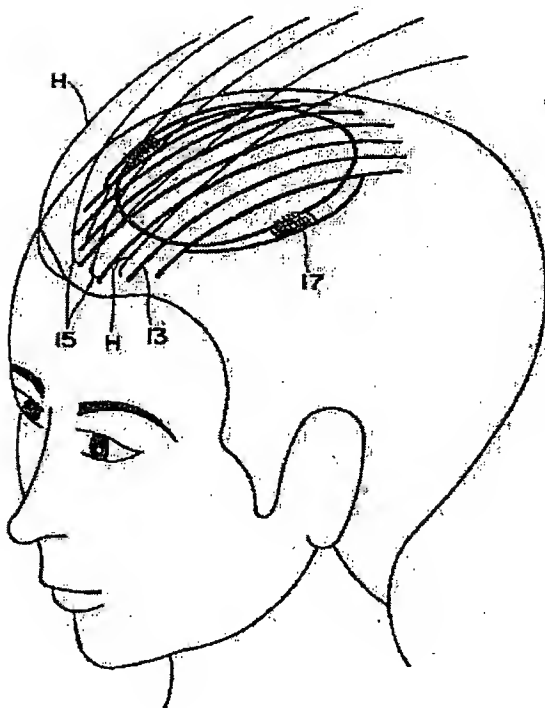
【図3】



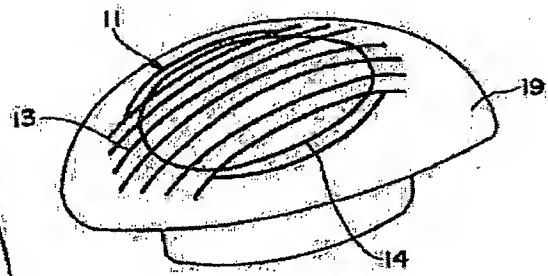
【図4】



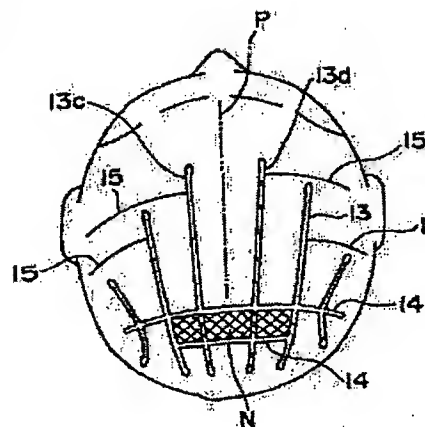
【図5】



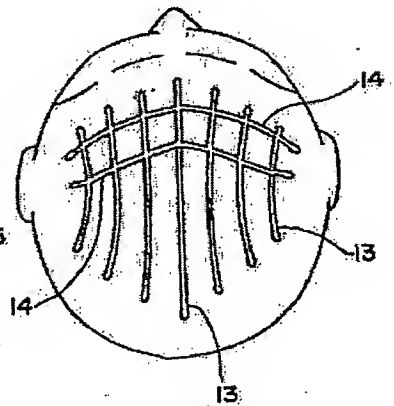
【図6】



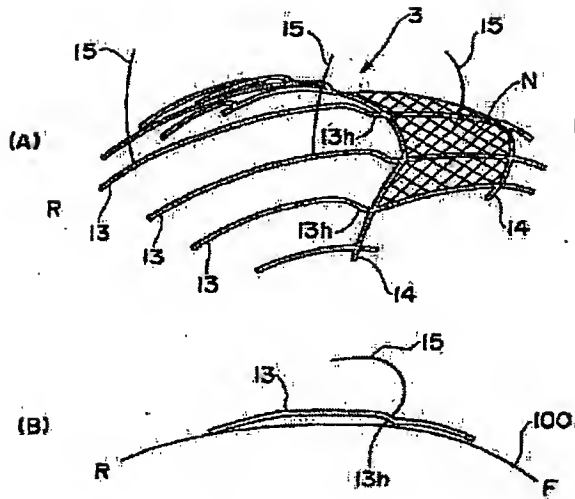
【図9】



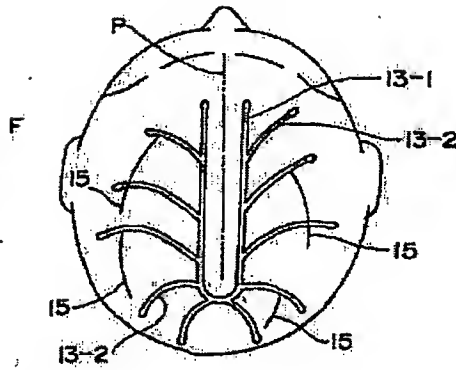
【図13】



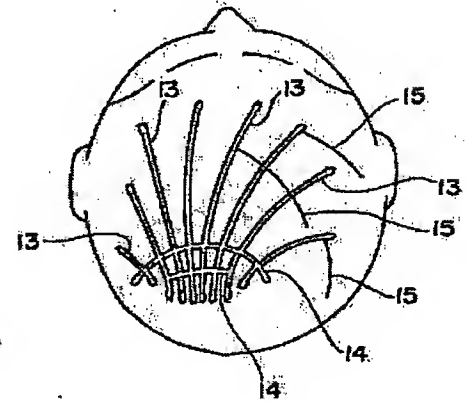
【図8】



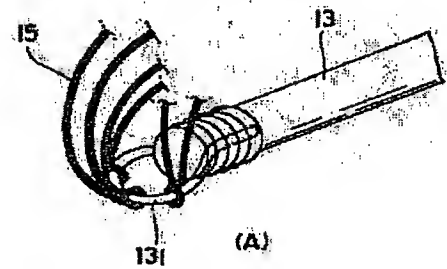
【図10】



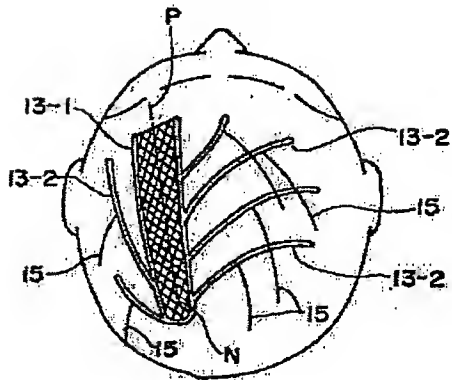
【図15】



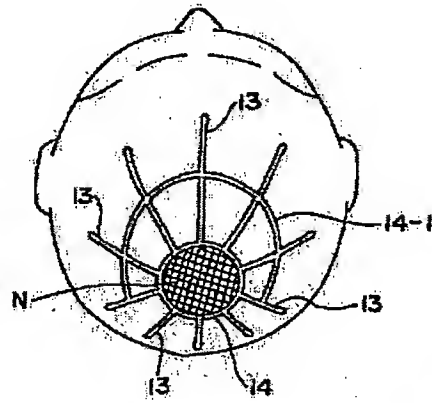
【図16】



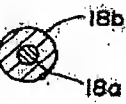
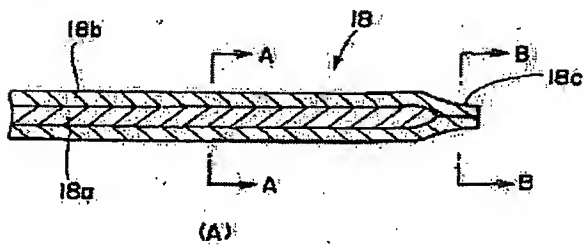
【図11】



【図14】



【図17】

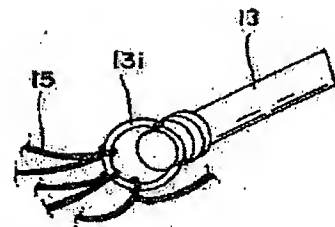


(B)

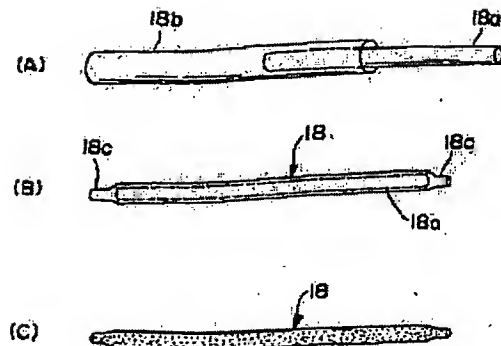


(C)

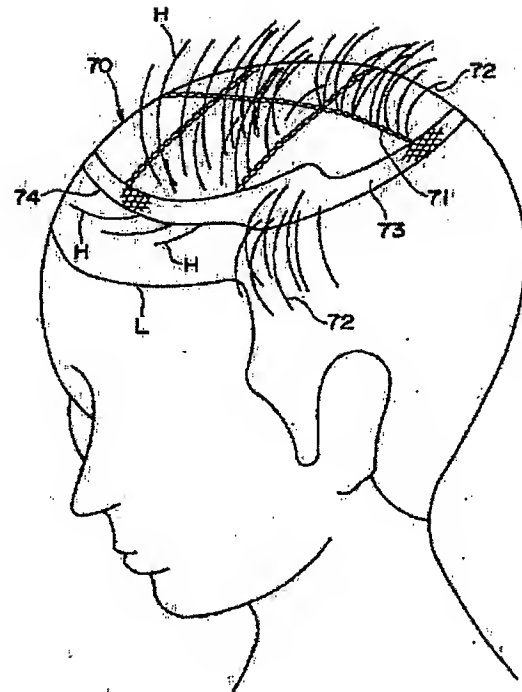
(B)



【図18】



【図19】



フロントページの続き

(72)発明者 磯辺 館 嘉彦
東京都新宿区新宿5丁目5番3号 フォン
テータ株式会社内

(72)発明者 須貝 勝男
東京都新宿区新宿1丁目6番3号 株式会
社アデランス内

(72)発明者 今井 咲子
東京都新宿区新宿1丁目6番3号 株式会
社アデランス内

(72)発明者 山川 龍司
東京都新宿区新宿1丁目6番3号 株式会
社アデランス内

(72)発明者 小島 賢吉
東京都新宿区新宿1丁目6番3号 株式会
社アデランス内